

「主の昇天」の祭日の説教

金 大烈 神父 2010年5月16日(日)

《宣教の使命》

おはようございます。

先週の堅信式では皆さん一人一人が心をこめていろいろ協力して下さったのでよい信仰の体験が出来たのではないかと思います。

今日は何の日でしょうか？「主の昇天」の日です《昇天》を簡単に言うと天に上がる事です。イエス様が天に上がった事について何を考えるべきでしょうか？今日の第一朗読の様に空を見上げて昇天の意味を考えるべきでしょう。証人になりなさいというイエス様のはっきりした言葉があります。その言葉の意味は宣べ伝える事です。それを宣教と言います。この昇天の祝日に何よりも私達に任された宣教の使命について考えなければならないと思います。

皆様、全員宣教者です。その宣教者になる為に必要な物を考えて見ましょう。それでは、子供のころに戻って漢字の勉強をしてみましょうか。この字はなんでしょう。“愛” “善” “義” “正” “Understand”(一枚に大きく書いた字を一枚ずつ見せながら)この五個の言葉を持って私達が動こうとすればなんでも出来ます。

初めにこの字は何でしょう？ (“愛”と書いた紙一枚を見せながら) “愛”ですね。この字をよく見てみましょうか。この字の下には【攴】がありますね。この字はどのような意味があるのでしょうか？ 久しいという意味の【久】という字だと思われるのでしょうか。違います。日本の読み方はわかりませんが、この字は【ゆっくり歩く】という意味を持っています。そして、真ん中にある字は“心”ですね。では一番、上の冠は何でしょう？ 誰も知りませんね。(笑い) (気と書いている紙を見せながら) 愛という字の一番上にある冠と爪が混じった字は、この字(気)から来たそうです。この字は何と読みますか。“き”ですね。このもとの字は中に米が入っている、【氣】で、もっと前の形は何も入っていない【气】でした。この【气】が変化して愛の一番上の部分になったそうです。

そうしたら、“愛”という字はどのような意味を持っているのでしょうか。それは誰かの事が好きになった時、その心を表したいけどなかなか浮ついて胸がわくわくするのですぐ近づくことが出来ない心、好きになった気持ちで心がいっぱい満たされてもその相手のことが気になって震える心、相手のためにどうすれば良いのか分からなくてためらう心、相手の為には自分がいなくなっても良いという心を含んでいるのがこの愛という字です。

今の時代は相手にすぐ自分の感情を伝えます。ためらうことも、震える心もなくすぐ伝えます。それは本当の愛でしょうか。この愛という字は相手に手を伸ばしていいのかどうか、その人が応じてくれるかどうか、震える心で慎重に近づくことです。私達イエス様の福音を伝える時、このような気持ちで近づく必要があります。突然人に「イエスを信じなさい、そうじゃなかったらあなたは地獄に落

ちます。」のような言い方ではいけません。家族の中にも教会から離れている方がいると思います。その様な家族の為には何よりも愛する心で忍耐力を持って祈りと模範を見せることです。

次の言葉“善”について話してみます。この字は“羊”と“口”が組み合わせられて出来ている字です。この字の意味は「羊の様にやさしく温和な口を持っている人」を言います。羊は牧者の引く通りについて行きます。そして絶対に、ねたみ・嫉妬・劣等感を持っていない動物です。誰が触っても頭を下げて素直に応じます。この様な心無しに、激しい言い方で人に話を聞かせようとしてもそれは宣教にはなりません。

次の言葉です。“義”という字には、上にまた“羊”があつて、下に“我”が付いています。この我という字が言うは自分の事です。一般的にこの“義”には冷たく冷静なイメージがありますが、本当の意味は「自分を羊の様にしなくてはならない。そして自分の上に羊を背負うように、弱い立場にいる人を背負う」という意味を持ちます。この様な義の精神が宣教にとって必ず大切な心です。

次は“正”です。この字は“一”と“止”が組み合わせられている字です。この字が意味するのは「一つの道しか見えない時、その道にすぐに行かないで一回止まって前・上・横を見ながら進むことです。正しさは急いであることではありません。これが正しいかどうか一回止まって考えてから進むことです。この精神を持たなければ、「宣べ伝える」ということは無意味になります。

さあ、次の言葉について考えてみましょう。

理解するという言葉は皆様良く知っていますね。理解ということは論理的にすぐ自分の頭の中で納得が出来ることを言います。ところが、この理解という言葉より単純に英語のほうがもっと深い意味を表しています。「理解する」という言葉に当てはまる英語は何でしょうか？。

そうですね。「Understand」です。

この言葉 Understand はどのような意味を含んでいるのでしょうか。この言葉は Under と stand という二つの単語が一つになっています。

ご存知のように Under は「下」とか「低い所」を意味します。そして Stand は「立つ」の意味です。即ち、相手を理解する為には自分が自ら低い所に立って相手を見ることです。見下ろす立場になるのではなく、見上げる立場になって相手の事を見取ることです。相手より下の低い所に立たなかつたら、その人を理解したとはいえないことです。

もう一度考えて見ましょう。“愛”・“善”(やさしさ)・“正しさ”の心を持ちましょう。そして“義”の精神を持ちましょう。何よりも低い所に立つ余裕を持ちましょう。これを宣教の精神と言います。

そうしたら、“宣教”という言葉の意味は何でしょうか。「宣」という字と「教」という字によって出来た言葉ですが、「宣」は二つの意味が持っています。普通に使っている意味は宣べ伝えると言う意味です。もう一つの意味はは施しすることです。即ち、ただ伝えるのではなくその相手に必要なことを施そうとする心を抱くことです。

そして、宣教の意味を英語で良く表わしている単語があります。それはミッション(MISSION)という単語です。この言葉の意味は「宣教」の意味と共に「使命」という意味も強く持っています。漢字の宣教という言葉も自分が持っている宝物を相手にあげる心で福音を教えるという意味ですが、このMISSION という単語も神様の福音をのべ伝える事だけでは無く、まずその前に使命感を持つことを含んでいます。神様から頂いた命令を果たすという強い使命感なければ、この宣教の意味も薄くなってしまいます。皆様は、年頭に「一年後、少なくとも一人を連れてきましょう」と約束しましたね。その為にはこの5つの事を考えて行かなければなりません。この5つを果たす為には何より必要な事は皆様がお祈りによって自ら福音的にならなければなりません。キリストの香りを発して下さい。その為に必要な事はお祈りです。何よりもお祈りの中で動こうとする心が大事であることをいつも心に刻みましょう。

ありがとうございました。